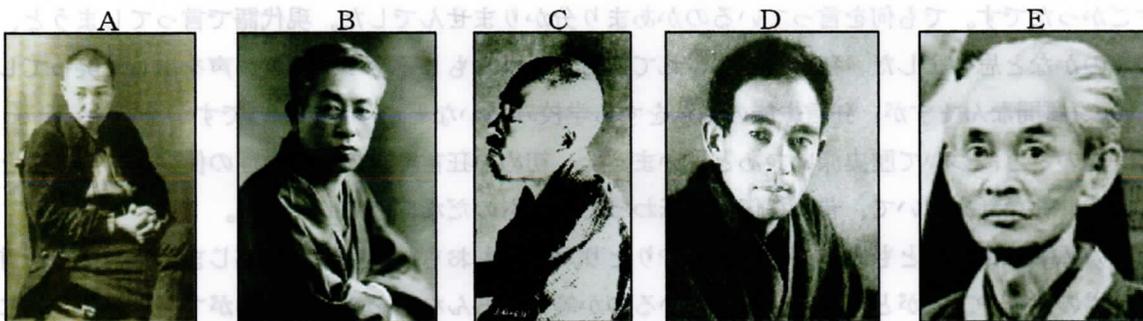


秋の夜長、読書に親んでいますか？

以前に明治や大正の文豪作品と出会うのも一つ、出来れば秋の夜長のひと時、新たな出会いを、といった感じで読書をお勧めしたと思います。あれから、朝読とは別に読書していますか。もちろん、明治や大正の小説家でなくともいいのですが、活字の世界に入り込んで、十分に楽しんでいただければ幸いです。

先日何かの折に小学校5年生の国語の教科書をみる機会があり、ぺらぺらとめくっていくうちに思わず惹き込まれ、随分熱心に読んでしまいました。物語文にしても説明文にしても、表現は分かりやすく、平易な文体になっています。小学校の児童たちは何回も音読し、暗記するほどに読み込んで、作品を鑑賞するのでしょう。次から次と豊かな想像力を駆使し、本の世界に溶け込んでいっている姿を想像しながら、いいなと感じたのですが、読書の楽しさはそんなところにあるのかもしれませんが。もちろん、皆さんは中学生。内容が難しい。ページ数だって半端じゃない等々、いろいろ読書に壁を感じている人もいるかもしれません。そんな人は最初から長編を読む必要もないし、何より文学作品でなくてもいいのですよ。絵本や詩、随筆といった作品もあります。何かこれは、と思うものに出会えればいいですね。ちなみに最近の人気作家について私ほうといのですが、東野圭吾とかいった作家の名前はよく耳にします。東野圭吾はサスペンスで純文学とは言えないものの“ガリレオ”シリーズで有名ですね。どのような作品でもとにかく読んでみることです。その世界に入ってみることが大切。そこへ行き着くことなく、本は嫌いだ、と言っている人も多いのではないのでしょうか。

ところで、再び質問です。下の作家や歌人を知っていますか。ついでに代表的な作品、皆さんはいくつ言えますか。挑戦してみてください。



中間テストも終わり、いよいよ新人大会、文化祭と行事、目白押しです。

秋も本格的に深まりつつ、いよいよ文化にスポーツに最適な気候となってきました。中間テストの結果も気になるころではありますが、新人大会、文化祭と行事、目白押しでこれから忙しくなりそうです。

部活動の取り組みにおいても、クラス・学年の取り組みにしても相手、仲間のあつての活動になります。

それぞれの力を出し合い、足りない部分はフォローしあいながら、悔いのないものにしてほしいと考えます。みんなで創り上げていったものは尊く、忘れられないものです。ぜひみんなで素敵な実践をしてくれることを心より期待しています。頑張ってください。

四日市市立西陵中学校能狂言鑑賞会を振り返って

前号で1, 2年生の皆さんの鑑賞会での感想を掲載させていただきました。はじめて能や狂言を鑑賞した、という人が大半でしたが、はじめての体験を通して、驚きや気づきも多く、誰もがその感動を綴ってくれていたように思います。今回は前の続きということで、3年生の感想を紹介させていただきます。



(3年生)

- ・音楽の授業でDVDでは見たことがあったけど、実際に生で見たのは初めてだったので独特の声に1番おどろきました。マイクを使ってないのに体育館中にひびきわたる声ですごいと思いました。狂言では、話している人も話していない人も視線をずらさず、一定の場所を見ていたことが印象強く残っています。言葉に力を入れたり、弱めたりとか、表情を変えたりしてその人の感情や気持ちが私でも分かることができました。能ではお面みたいなものを顔につけていてあまり周りが見えてないのに堂々と歩いたり、などの演技をしているのに驚いたし、すごいと思いました。
- ・一つ一つの動きがとてもゆっくりで、せっかちな私には演じるのは難しいだろうな、と思いました。でも動きよりもっと難しいのは声の出し方だと感じました。強弱やのどの使い分けと動作を合わせて表現するのはとても難しく、しかもそれを面をかぶって視界がすごく狭い環境でやるなんてすごい。生で能楽を観たのは初めてだったけどあらすじを知っておくだけでその世界に入りやすくて、理解もできるし楽しくなりました。今日能楽を観て、これからは現代の文化に並行して日本のいにしえから伝わっている芸術・文化を知っていきたいと思いました。面白かったです。
- ・狂言・能をみて私は狂言の方が好きだなと分かりました。また見たいなと思いました。前で演じている人もすごいけど、後ろで楽器をしている人もすごいと思いました。あと、声を高くしたり低くしたりするところがすごかったです。でも何を言っているのかあまり分かりませんでした。現代語で言ってしまうと、またちがうのかなと思いました。狂言のだまされている場面がおもしろかったです。声を出して笑ってしまいました。(質問なんですが、狂言や能の勉強をする学校みたいなのところがあるのですか?)
- ・まず狂言や能のことについて歴史深いなあと感じました。初めの狂言や能の歴史、面の使い方や今のことについていろいろな話を聞いて、昔から伝統で伝わってきたものだなあと感じました。初めの狂言の仏師は田舎者ともう一人の会話、やりとりがとてもおもしろいように感じました。一言一言の言い方で場の風景や二人がどんな風になっているのか等、いろいろな事を感じることができました。次に能の羽衣では、笛や太鼓などいろんな楽器での演奏がとても迫力あったと思いました。昔からの笛と今の笛ではやっぱり音が少し違ったなと思いました。最後の体験で、昔の行動や言葉をよく知ることができて面白かったです。今日のこの授業で狂言や能についてたくさんを感じ取り、想像することができました。



- A : 宮沢 賢治 B : 島崎 藤村 C : 正岡 子規 D : 志賀 直哉 E : 川端 康成
A : 銀河鉄道の夜・春と修羅等 B : 夜明け前・破戒等 C : 病床六尺・歌よみに与ふる書等
D : 小僧の神様・城之崎にて・暗夜行路等 E : 伊豆の踊り子・雪国・千羽鶴・山の音・古都等